

令和2年度和裁士技能検定（1級）学科試験解答

実施日：令和3年3月14日
所用時間：90分

1. 次の着装に関する説明文の中で、正しいものには○、誤っているものには×を（ ）の中に記入しなさい。（配点5点）

- ① (×) 女物和服の礼装用の帯には、染物が適している。
- ② (○) 袖の着物でも、無地であれば略礼装になる。
- ③ (×) 女物の羽織・道行コートは、室内では着用しない。
- ④ (×) 女物の羽織の袖丈は、着物の上に着用するので着物より長くする。
- ⑤ (×) 男物羽織の抱き紋の位置は、反物の幅の中央に入れるとよい。

2. 下の表は和服の紋下りを記したものです。表を完成させなさい。《※鯨尺でもcmでもよい》（配点5点）

	本 身	四ッ身	一ッ身
背紋下り (衿付けより)	5.7 cm 1寸5分	(4.5 cm) (1寸3分)	(4 cm) (1寸)
袖紋下り (袖山より)	(7.5 cm) (2寸)	6.5 cm 1寸7分	(6 cm) (1寸5分)
抱き紋下り (肩山より)	1.5 cm 4寸	(1.3 cm) (3寸5分)	1.1 cm 3寸

3. 次の紋の名称を下記の語群から選び（ ）の中に記入しなさい。（配点10点）
また、よみ仮名を《 》の中に記入しなさい。



(橘) (桔 梗) (木 瓜) (剣 片 喰) (花 菱)
《 たちばな 》《 ききょう 》《 もっこう 》《 けんかたばみ 》《 はなびし 》

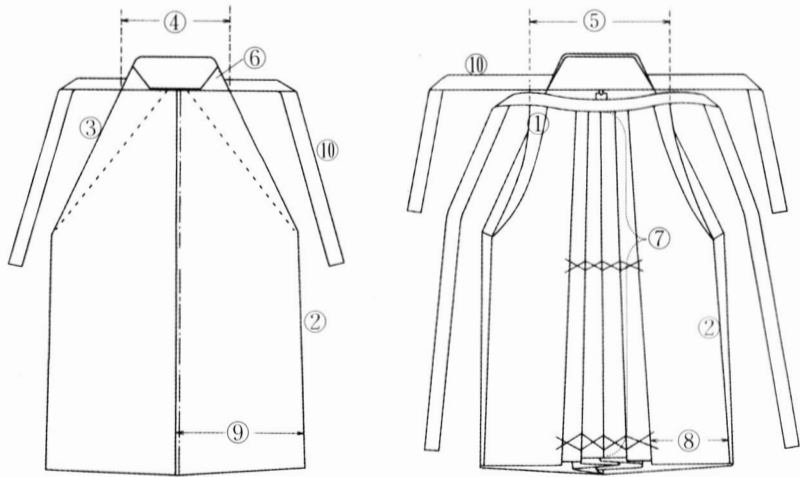
- | | | | | |
|------|--------|-------|-----|-----|
| ・剣片喰 | ・九曜星 | ・五三の桐 | ・木瓜 | ・橘 |
| ・梅鉢 | ・違い鷹の羽 | ・桔梗 | ・蔦 | ・花菱 |

4. 次の説明文の（ ）の中に、適当な語句を記入しなさい。《※鯨尺でもcmでもよい》（配点5点）

- ① 名古屋帯の太鼓の柄は、垂先から柄の中心まで（ 1尺8寸/68.2cm ）にする。
- ② 男袴の前紐の丈は、胴まわりの（ 3.5～4倍 ）が標準である。
- ③ 袋帯の帯丈は（ 1丈1尺/4m20cm ）くらいである。
- ④ 女物着物の身丈は（ 身長 ）と同寸である。
- ⑤ 女物着尺で、掛衿を2本取りする場合は、（ 1尺3寸2分/50cm ）余分があれば出来る。

5. 男物袴袴(馬乗袴)を前から見た場合と、後ろから見た場合の完成図を描き、下記部分がよくわかるよう、それぞれ所定の位置に記号を入れなさい。（配点 図10点/名称10点）

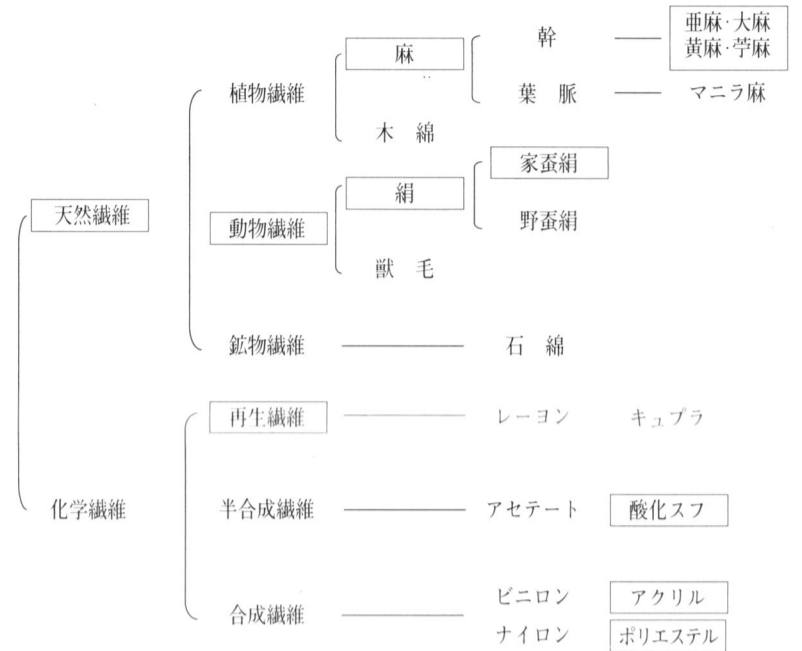
- ① 笹ひだ ② 相 引 ③ 投 げ ④ 後腰幅 ⑤ 前腰幅
- ⑥ 付 菱 ⑦ 紐 下 ⑧ 前脇幅 ⑨ 後 幅 ⑩ 後 紐



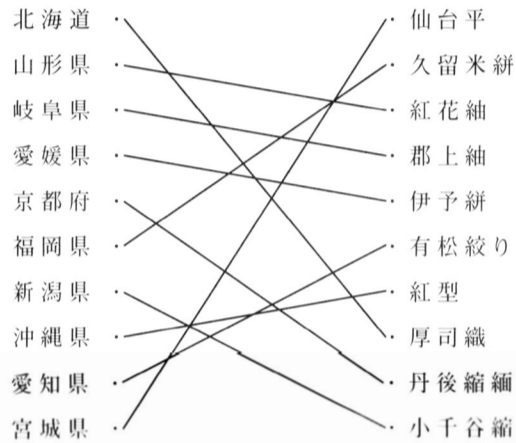
6. 下記の模様の中で語句が正しいものには○を、誤っているものには×を（ ）の中に記入しなさい。（配点10点）

- ① 麻の葉 ② 市松模様 ③ 翁格子 ④ 紗綾形 ⑤ 亀甲 ⑥ 矢絰 ⑦ 鱗 ⑧ 滝縞 ⑨ 大名縞 ⑩ 松皮菱
- (○) (×) (○) (×) (×) (○) (×) (○) (×) (○)

7. 下の表は繊維の分類を示したものです。表を完成させなさい。（配点10点）



8. 下記の織物の産地を線で結びなさい。（配点10点）

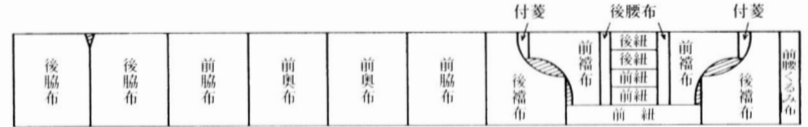


9. 次の5問について、各部分を寸法に応じ配分し、その名称をよく分かるように記入して裁断図を描きなさい。（裁ち切は実線、折り山等は点線で記入）（配点各問5点）

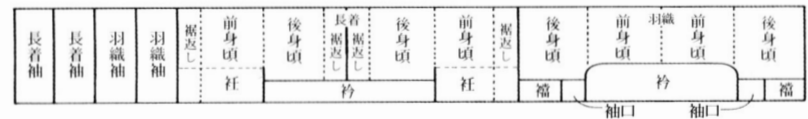
① 並幅物12m12cm(3丈2尺)の反物で、一ッ紋付本裁女物長着を下記指定寸法で追い裁ちにしたい。
裁断図および各部の寸法と名称、紋の位置を記入しなさい。
身丈背より出来上がり160cm(4尺2寸3分)・袖丈出来上がり51.1cm(1尺3寸5分)
繰越2.6cm(7分)・袷下(衿下)出来上がり79.5cm(2尺1寸)・他は標準寸法とする。
(注) 袖の前後、上前身頃、上前衿、上前共衿、上前衿裾などの位置を明記すること。

後袖	前袖	後袖	前袖	後身頃	上前身頃	後身頃	下前身頃	衿	上前衿	衿	上前衿
51.1cm	51.1cm	51.1cm	51.1cm	169cm	169cm	169cm	169cm	157cm	157cm	157cm	157cm
145	145	145	145	447	447	447	447	共衿下	地衿	216cm	上前
								98.5cm	260	572	

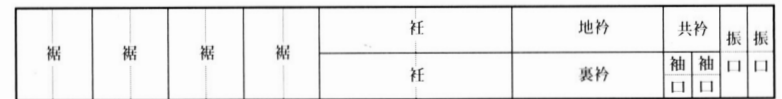
② 並幅物10.2m(2丈7尺)の反物で、男物袴(馬乗)袴を作りたい。その裁断図を記入しなさい。



③ 並幅物15.2m(4丈)の反物で、四ッ身長着(共裾)と羽織を裁ちたい。その裁断図を記入しなさい。



④ 並幅物11.8m(3丈1尺2寸)の反物で、留袖用比翼を作りたい。その裁断図を記入しなさい。ただし、袖は口・振とし、衿裏共布とする。



⑤ 大幅物6m(1丈5尺8寸)の反物で、女物長着を作りたい。その裁断図を記入しなさい。

